

大和郡山市薬剤師会からのお知らせ

残薬調整してみませんか？ 「節薬バッグ」運動実施中！

「自宅にお薬は残っていませんか？」

薬局の薬剤師が、あなたの余った薬を確認し、医師に連絡して、残った薬を有効活用します。

処方された薬が減ると、当然、負担いただく薬代も少なくなります。（※1）

みなさんも、「節薬」をしてみませんか！

※1 どの程度節約できるかは、残った薬の状況によって異なります。

※2 他の医療機関や薬局で受け取った薬も持参してください。

問合せ＝大和郡山市薬剤師会（☎55-0703）

余ったお薬持参の流れ…

節薬とは、余っている薬を有効活用することです。

バッグに入れて

お薬が余っているのよ

節薬バッグ

薬局へ持参!!

市内薬局では、この活動に協力いただける患者のみなさんに「節薬バッグ」を配布しています。このバッグに、家庭にある残ったすべての薬（※2）を入れて、かかりつけ薬局に持参してください。

（保健センター）

万一の災害が起きたときに備えるため、家族でよく話し合い、 普段から準備をしておきましょう。

問合せ＝市民安全課 防災統轄係（内線629）



▼チェックリスト	
<input type="checkbox"/> 家族一人ひとりの役割分担	日頃から、家族の間で災害時の役割を決めておきましょう。
<input type="checkbox"/> 危険箇所のチェック	家の内外や避難場所への経路途中に危険箇所がないかチェックしておきましょう。
<input type="checkbox"/> 災害時の連絡方法や避難場所の確認	家族が離ればなれになったときの連絡方法や避難場所を確認しておきましょう。
<input type="checkbox"/> 災害に備えて非常持ち出し品を準備（主なものを掲載）	<ul style="list-style-type: none"> ・避難用品 : ヘルメット、懐中電灯、雨ガッパ、軍手など ・情報機器 : 携帯ラジオ、携帯電話など ・貴重品 : 現金（小銭含む）、健康保険証、預金通帳、印鑑など ・救急セット : キズ薬、ばんそうこう、包帯、ハサミなど ・非常食 : 水、乾パン、缶詰など ・生活用品 : 衣類、タオル、缶切り、ナイフ、予備電池など

▼災害に備えて地域に自主防災組織を作りましょう！

自主防災組織とは、「自分たちのまちは自分たちで守る」という理念に基づいて、地域住民の間で結成される防災組織です。地震や水害などの災害が発生したときには、地域内で中心となり、自らの身を守るために協力して防災活動を行います。



広 告 欄